

- 問1 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいにする処理がおこなわれますか。
- 問2 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何といいますか。
- 問3 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。
- 問4 石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料をもやして電気をつくる方法を何といいますか。
- 問5 工場で機械を冷やすために使った水を、繰り返し使う取り組みには、どのような目的がありますか。
- 問6 新聞や雑誌などの紙類を正しく分別して出すと、何に生まれ変わることが多いのでしょうか。
- 問7 家庭で「ふろの残り湯」を洗濯に使うのは、なぜ水資源を守るために良いことなのでしょう。
- 問8 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。
- 問9 エネルギー源を燃やして、その熱で電気を作り出す方法を何といいますか。
- 問10 使い終わった後に、もう一度新しい製品の材料として作り変えることができるごみのことを何と言いますか。
- 問11 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設の何を何といいますか。
- 問12 清掃工場でごみを燃やすときに出る熱は、地域のどのような施設で利用されているのでしょうか。
- 問13 ごみとして捨てるときに、商品や容器包装についている「リサイクルマーク」を確認することには、どのような理由がありますか。
- 問14 水の流れを利用して電気を作る方法を何といいますか。
- 問15 原子力発電で、電気を作るための燃料として使われるものは何ですか。
- 問16 私たちが家庭で使う水は、川から直接流れてくるのではなく、必ず浄水場を通るようになっています。なぜ、わざわざ浄水場できれいにする必要があるのでしょうか。
- 問17 ごみを減らして地球の環境を守るための取り組みとして、リデュース・リユース・リサイクルに、「いらないものを断る」という意味の「リフューズ」を加えた4つの考え方を何と呼びますか。
- 問18 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。
- 問19 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何といいますか。
- 問20 なぜ発電所でつくられた電気を、そのまま家庭に送らずに、一度「変電所」を通す必要があるのでしょうか。
- 問21 日本でいろいろな種類の発電方法が使い分けられているのは、なぜですか。